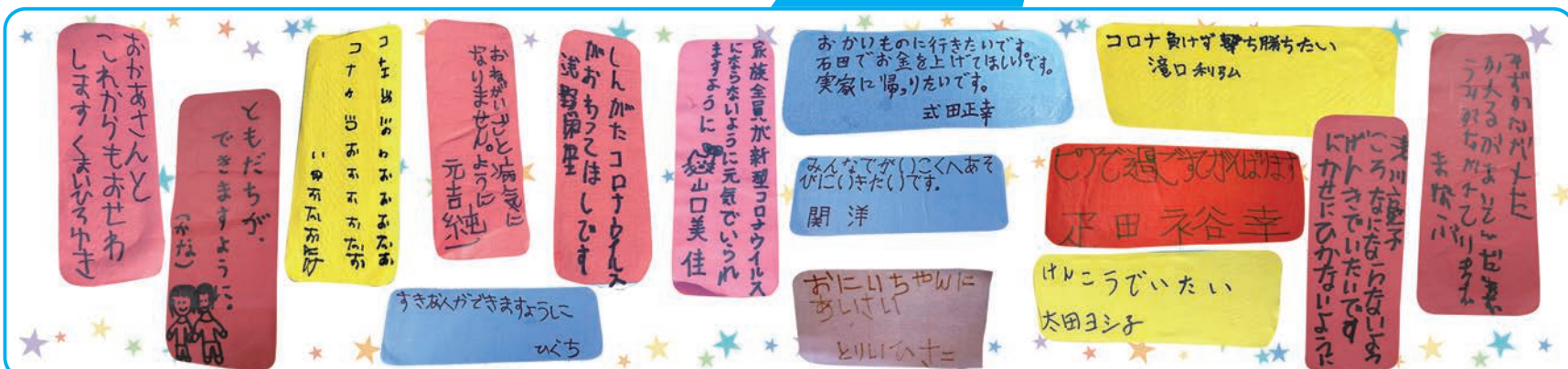




皆の願いが届きますように



ピアの杜

千年かけて発達してきた日本の歴史ある資産。おでん。田楽豆腐であったものが明治期に関東で汁気の多いものになり、大正時代の関東大震災を機に関西から逆輸入される形で広がり、今なお人気のあるおでん専門店が続々と開業していったようです。その時代、もしかしたら話題の「鬼滅の刃」の登場人物たちも味わったかもしれませんね。

そのおでん。おでんの良いところは体が温まり一品でいろいろなものが食べられ、栄養バランスが良いところです。かまぼこで有名な「紀文」の家庭の鍋料理調査2020によると好きなおでん種調査ではほぼ全ての地域、年代で「大根」と「卵」が2トップとなっています。大根は、カリウムやカルシウムが豊富。玉子、は食物繊維とビタミンC以外の栄養素をすべて含んだ完全栄養食として知られています。その他は食物繊維が豊富な「こんにやく」、タンパク質が多く含まれる「はんぺん」などが人気のようです。まさに栄養バランスがばっちりと言えます。私としては、餅入り巾着と棒太も捨てがたいですが…。

そんな素敵な「チームおでん」ですが、練り物を入れるタイミングを間違えるとせっかくの良さが失われてしまうことを存じですか？練り物は旨味の強い食材なので、はじめから煮込むとだしが出て良いのでは？と思いがちですが、じっくり煮込むとかえって旨味が逃げてしまつてしまいます。そのため、予めだしで練り物以外の具材を煮込み、一度火を止め冷まして味を良くしみ込ませたあとで再び加熱して練り物を投入し、10分ほど煮込むと良いそうです。こうすることでしっかりと煮込みたい具材には火が通り、かつ練り物を煮すぎることなく、味をしみ込ませることが出来るのだそうです。たくさん具材を一度に入れれば良いわけではなく、それぞれの良さを最大限に引き出すためにはタイミング・見極めが重要ということでしょうか？

これは私たちの普段の仕事にも通ずるものがあります。ピア宮敷も19年前にわずか17名の具材とも言える職員で始まりましたが、今では80名を超える規模となり、「柱」となる職員も育ってきています。それぞれの職員が「心を燃やせ、負けるな、折れるな」といい味を出せる具材となるため自己研鑽に励み、「俺は俺の責務を全うする！」と言い切れるように実力を高め、いつでも生き生きと活躍できるようにしなくてはなりません。コロナ禍の今、いや今後起こり得る様々な出来事に立ち向かうには、料理人（上司）と具材（職員）・同僚同士が、コミュニケーションを欠かさず、それぞれが活躍できるように適材適所にて美味しい「チームおでん」になれるように皆で取り組んでいきたいです。ピアおでん、いただきます！

「よもやよもやだ！」台風襲来。しかし「そんなことでピアの情熱は無くならない！」

毎夏恒例の「納涼祭 ピアフェスタ」が中止となり、利用者の皆さんをがっかりさせていたのですが、同じく秋に開催している“創立記念行事”と中止となった“ピアフェスタ”を融合させた新たな行事『秋のピアフェスタ』を開催しました。

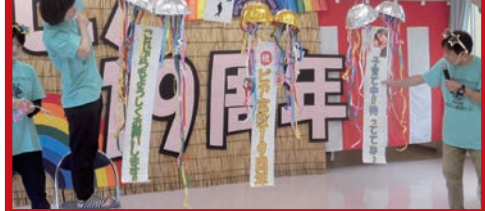
午前中に運動会、午後は記念式典・ミニ模擬店とし、様々な模擬店屋台、流しソーメンなど少しでも“夏の思い出”を感じられるようにと企画しました。しかし、そこはコロナ禍での開催。内輪の行事とはいえ感染症対策はばっちりとしなくてはなりません。施設長からは「流しソーメンは流れなきゃダメだ！」と無茶振りされ、どのように提供したらリスクが少しでも下げられるのかと、担当者の中で何度も話し合われました。基本的な手洗いの徹底、手指消毒、マウスシールドの徹底など今まで経験したことのない、このような状況で、どの程度したら安全なのか、不安で夜も眠れない日々が続きました。しかし今回は流れてくるそうめんを職員がすくい、提供するスタイルに決定し当日の利用者の笑顔を思い浮かべて楽しみにしておりました。

ところが、実施数日前から「よもや」の台風発生。影響により事前準備も思うように出来ず、当日も朝から雨。予定していた運動会は中止となり、残念ながら室内での記念式典、ミニ模擬店のみとなりました(流しソーメンは後日晴天の日に挙行了しました)。オープニングはお馴染みの「ぴあなっつ」メンバーによる「よさこいソーラン」です。晴れ晴れとした表情でよさこいを披露していただきました。

次に、各班・事業所による出し物です。各班・事業所の個性が色濃く出ており、会場が皆さんの笑いで包まれている時間でした。特に私がリーダーを務める“戸外班”はコロナで亡くなった“志村けん”さんを偲び、ドリフターズの出し物を行いました。大爆笑で、一説によると来年の「さわやか芸能発表会」に殴り込みだとか。

お楽しみの“おやつタイム”では、新たに登場したクレープが大盛況でした。ほかにもかき氷やポップコーン、ジュースブースなどを提供しました。利用者の方々から『おいしい』、『楽しい』と声をかけられホッとしました。無事に一日を終えることが出来ました。ありがとうございました。

記事：清水



ピア宮敷のコロナ対策

新型コロナウイルスの感染拡大により日常生活が変化し、瞬く間に感染が世界に拡大しました。この様な状況になるとは誰も想像がつかなかった事だと思います。

この間、ピア宮敷においては産業医からの定期的レクチャーに加え、危機意識共有のため、疑問・質問に関するアンケート実施や千葉県から公募があった感染管理認定看護師派遣事業を受講するなどできる限りの対応を進めてまいりました。

まず8月に千葉県より感染管理認定看護師の大塚モエミ様にお越しいただき、新型コロナウイルス感染症の実態について学習し、手指衛生と防護具の着脱方法、実際のピア宮敷のゾーニングについて指導をいただきました。

そのさなか、8月の下旬に、いすみ市内の障害福祉サービス事業所の利用者がコロナに感染したようだという事で、大いにこの地域がざわつきました。不明確な情報の伝播に不安や不信感が増幅していく感覚は何とも不気味でした。

そこで、新型コロナウイルスに対する正しい情報を入手し、また、地域でのネットワークをしっかりと構築しなければ到底太刀打ちできないと考え、「いすみ医療センター感染制御アドバイザー・平井愛山医師」を講師に迎え、いすみ市内の障害福祉の事業者で複数回に亘って勉強会を開催しました。

見えないウイルスと戦う中、不安なこともありましたが、平井先生に新型コロナウイルスについての正しい知識・予防・対応法など様々な観点から施設運営の目線で数回にわたり講話を頂き、実践ですら不安は消えていきました。(コロナウイルスを毒饅頭に例えての説明により、我々が出来ることやらなければならないことが明確になりました。)



唾液による検体採取を試行



平井医師による防護服の指導



自動水栓の洗面所を新たに設置



大きな扉でゾーニング

大切なことは

- ①石鹸で正しく手洗いし、流水でよく流す。
 - ②換気を十分にする。
 - ③他者に移さないようにマスクをする。
 - ④感染者を早期発見する。微熱や何かいつもと違うと感じたら受診し検査を受ける。
 - ⑤陽性の診断が出たら隔離する。感染力がある時は入院や準備されたホテル等で隔離する。
- ※施設利用者で陽性が出た場合は、施設内での生活が前提となります。



平井先生によると「11月～2月は、インフルエンザ流行時期であり、双方の発熱者が急増する。インフルエンザと新型コロナの鑑別は、臨床症状からは困難であり、検査実施による鑑別診断が最重要課題。インフルエンザは治療薬があるが、新型コロナは治療薬がなく、感染力ある患者の隔離による感染拡大阻止が唯一の手段である。」とのことでした。

そのため、一般的にPCR検査の受診が困難と思われる知的障害者に対する診断マニュアル・検査法を早急に確立させる必要があります。平井先生の指導の下、利用者さんに実際に検体採取のモデルとして協力いただき、職員が実際に唾液による検体採取の訓練も行いました。

今後、国民の70%が感染するといわれています。完璧に感染を防止することは困難です。われわれ施設職員は、感染の早期発見のため、利用者さんのわずかな変化に気づけるよう注意しながら感染防止に努めていきます。記事：片岡

みんなにやさしい畑～ノウフク連携菜花プロジェクト～

菜花栽培のセカンドシーズンがスタートしました。いろいろな思いを込めて、今年度より「みんなにやさしい畑」というプラットフォームを作り、様々な取り組みにチャレンジしていきます。

【→ <https://minnahatake.com/46> をぜひご覧になってください。】

事業開始初年度の昨年は、知識、技術、また、利用者の皆さんに活躍していただくための支援の構築が不十分でしたが、今年度は「3A（安全、安心、あたたかい）を携わる人全員に」をモットーに、菜花栽培の全工程で利用者の方々に関われるような作業を細分化しつつ楽しみながら作業に取り組んでいただけるような提供方法を模索しております。

さて、作業は9月1日の畑作りからスタートしました。使い慣れない大型トラクターを何とか操って9月4日には見事4,000坪、44畝の畑が完成。9月7日、種まきスタート。夷隅農業事務所の普及指導員の方々にご指導いただき、利用者の方も参加できる「種まき機」を自作したところ、まさにマジックマシン！！ほぼ畑全部の播種を利用者の皆さんだけで行うことができました。



まずはほっと一安心…と思ったのもつかの間、緊急事態発生！！地域の菜花栽培をされている大先輩の畑とは明らかな成育の違いが…。発芽のスピードが遅く、生育が今一つ…。“菜花ガールズ”や“大先輩”の見立てにより、もう一度播種をやり直そうということになりました。「菜花ガールズ」の参戦！&「ピア宮敷・One Teamスピリッツ」等大勢の方々の協力のもと、畑の約半分を播種のやり直しし、残りの半分は移植をしてピンチを切り抜けました。再スタートし、今では何とか持ち直しました。

利用者の皆さんの「できる！」を見つけ磨き上げ、「居場所と出番」を作ること使命の一つです。まだまだではありますが、利用者も職員も確実に一歩ずつ前進しています。今後は「除草、移植、除虫、追肥」などの作業を適宜行い、12月頭からの収穫に向かっていきます。皆様が、美味しい菜花料理で年を越せるように頑張ります。Everything's gonna be alright！！（すべてうまくいきます！！） 記事：平林・石橋



戸外交交流会

毎年春に実施してきた古沢小学校との【さつま芋の苗の植え付け】交流会は中止でした。「収穫祭は何とか実施したいね！」と育成に頑張ってきましたが、残念ながら開催できず…。利用者の皆さんもがっかりでした。そこで、ピア内交流会ではありませんが、生活班の皆さんに声をかけて、収穫の喜びを共に味わおうと考えました。利用者の皆さんは無邪気に泥だらけになって悪戦苦闘しながらも笑顔いっぱいの楽しい芋掘りとなりました。今年のさつま芋はサイズのそろった大きなものが多く、一緒に収穫祭を行うことが出来たなら小学生の嬉しそうな笑顔が見られたかと思うと非常に残念です。折角ですので、収穫したさつま芋を古沢小学校へお届けすることとしました。来年こそは例年通りに交流会が行えることを切に願っています。記事：河野



さつま芋お届け（10月30日）



芋ほり（10月21日）

いすみ産純正ごま油 只今鋭意製造中です！

2回目となる「ゴマオーナー制度」ですが、諸々の課題をクリアしながら取り組んでおります。

5月、暑さに体がまだ慣れていない頃、就労継続支援B型の利用者の皆さんが汗を流し、雑草の除草に取り組み農地を整備。いすみ農業事務所の職員の方には現地まで来ていただき、畑の状態や種蒔きのアドバイスなどをいただく事が出来ました。9月には大きく成長したゴマを刈り取り、ハウスの中で乾燥させました。天気の良い日にはブルーシートを中庭に敷いて種を叩き落とす作業を行いました。今後は脱粒したゴマを洗って乾燥させ、最後に細かいゴミを唐箕を使って取り除きます。

12月には油として絞れるものと思います。オーナーの皆様【いすみ産純正ごま油】がお手元に届くまで今しばらくお待ちください。 記事：吉野



コロナに負けるな！

【ピンチをチャンスに！工夫次第で何とかなるさ！】

今年度、ピンチをチャンスに！ということで、ステップ班・第1工房が掲げた目標は「歩く！」ということでした。真夏の暑さにも負けず、よく歩きました。秋晴れのとある日、ほかの活動班にも声をかけ、みんなでアルケアルケ！とばかりに、ピア宮敷第1工房周辺をとことん歩きました。芝生の広場や農道を思い思いに散策したり日向ぼっこしたり。コロナ禍でも創意工夫で楽しく過ごして運動不足も解消できる一石二鳥のグッドアイデア！これからも続けていきたいです。

また、サークル活動など、休日の余暇外出もせめて公園やドライブには出かけたいと思うものの付きまとうのはトイレの問題…。このご時世出来る限り公衆トイレには寄りたくないし…。そこで妙案。わが土穂会にはcafé Pamiyashikiがある！！定休日に貸し切り状態でお食事すれば感染のリスクも少なく外食気分が味わえます。今回のためにカフェスタッフが考案した特別メニューで利用者の皆さんもご満悦。大満足のグッドアイデア。累計で20回、入所・GHの全利用者が楽しみました。記事：石原



「café 外出」大満足



アルケアルケ大会（10月27日）

今後とも無理なく、楽しみながら続けて行きたいと思っています。そして自分自身の心身の健康を保ち、利用者の皆様の健康にお役に立てればと思います。



いすみ市に移住して早3年、月日が過ぎるのは早いですね。休みの日は、趣味の家庭菜園を行っています。家庭菜園のきっかけは、テレビで見た光景がいつか見た田舎の風景と重なり、自分で作った作物を食べたいなと思ったからです。野菜の植え方で気をつけている点は、同じ野菜や同じ科の野菜を続けて育てないようになっています。これは病気や害虫の被害を抑え込む為です。それ以外では、根菜類・葉菜類・果菜類で回すようにしています。野菜を植えた時マルチングをしますが、我が家では土に返る物（もみ殻・枯草・刈り取った芝生等）を利用します。これによって、土の温度を上げる・乾燥を防ぐ・土の跳ね返りを防ぐ事が期待されます。仕事でも同じですが、準備でほとんどが決まります。上手いかなかったです。分析して次回より改善する事が必要です。

ピア宮敷では、職員のワーク&ライフの充実を応援しています。ワークに一生懸命に取り組むのはもちろんの事、ライフにおいても、見聞を広げたり様々な経験・体験を積むことやリフレッシュすることが明日への活力につながると思います。

鹿児島県の徳之島出身。さいたま市で看護師として二十数年働く。快適な都会での生活も窮屈を感じるようになり、田舎暮らしを模索。そしてたどり着いたのは、海が近くて山や川があり自然豊かなこの「いすみ市」。そしてピア宮敷と出会う。

独特の存在感を発し、仕事も一生懸命の「貞光秀義さん」です。

「みんなにやさしい畑」ホームページができました！

昨年よりはじめた食用菜花栽培の取り組みを紹介するホームページができました！ <http://minnahatake.com/>

誰にとってもこの場所は「やさしい」場所でありたいという思いと「みんな」の「な」を「菜花の菜」に置き換えたネーミングにしました。

菜花畑の様子はもとより、「ノフク」連携や地域情報など随時情報アップしていきますのでご期待ください！（記事：内野美）



資格、経験が無くても大丈夫！ 正職員募集

新卒・既卒者も
歓迎いたします。

【求人内容】障害者支援施設

生活支援員・就労支援員・作業スタッフ等

※35歳以下：年齢制限例外事由：長期勤続によるキャリア形成を図る観点から、若年者等を募集
(職業経験不問・新規学卒者と同等の処遇により)

※給与・休日その他詳細は面談にて

笑顔があふれる職場で
一緒に働きませんか！

ピア宮敷 社会福祉法人 土穂会
千葉県いすみ市岬町岩熊 138-10
電話 0470-87-9631 担当/内野

※お問い合わせは、ホームページまたはメールからも承ります。
メール: miyasiki@bz01.plala.or.jp ホームページ: piamiyasiki.jp/



創立記念行事での活躍変遷



10年前、当時私が勤めていた美容室（福岡市西区）のお客様だった多田理事長から1本の電話がかかってきました。「あんな美容師やめてこっち（千葉）に来なね！先生とは話がついとるけん！」。理学療法士を目指すそうかなと漠然と考えていた私の道が突然決まりました。不思議なものですね。そしてあつという間の10年間。慣れない土地で慣れない仕事に悪戦苦闘。失敗談・〇〇書は数知れず。利用者の皆さんや同僚職員の優しさ、大目に見てくれる（？）上司のご理解でこれまで続けてこられたのかなと思います。こういう私も40歳。気持ちを新たに、今日より明日、明日より明後日と毎日が素敵な日になるよう精進してまいります。

10年勤務表彰者紹介

美容師からの仮装なる…いや華麗なる転身
生活支援員 野坂伸一郎



10年前、当時私が勤めていた美容室（福岡市西区）のお客様だった多田理事長から1本の電話がかかってきました。「あんな美容師やめてこっち（千葉）に来なね！先生とは話がついとるけん！」。理学療法士を目指すそうかなと漠然と考えていた私の道が突然決まりました。不思議なものですね。そしてあつという間の10年間。慣れない土地で慣れない仕事に悪戦苦闘。失敗談・〇〇書は数知れず。利用者の皆さんや同僚職員の優しさ、大目に見てくれる（？）上司のご理解でこれまで続けてこられたのかなと思います。こういう私も40歳。気持ちを新たに、今日より明日、明日より明後日と毎日が素敵な日になるよう精進してまいります。

讃岐うどんの
おいしいお店

就労体験館「どんちゃん」

どんちゃんでは、飛沫防止衝立の設置や手指消毒液の設置、換気の励行など安全対策を施し「より安全により美味しく」をモットーにスタッフ一同努力しております。

この度、電子マネー決済を拡充するとともに、10月からは「Go To トラベル」「Go To イート」の取り扱いも開始しました。これから、温かいうどんが恋しくなる季節です。チゲうどんやあんかけうどんでも温まりませんか？皆様のご来店を心よりお待ちしております。



「純正ごま油でつくったラー油」に山椒とレモンガラスの香りをプラスした「ラー油+（プラス）」という商品が新発売となりました。辛いだけでは物足りない、シビれる辛さをお求めの方はぜひ一度お試しください。やみつきになる辛さです（本数限定商品です。売り切れの場合はご容赦ください。）



ところで、当店では14:00～15:00の間、ご自分でドリップしたコーヒーを飲むことが出来るようになりました。あっさりとした淹れるもよし、どっしりと濃く淹れるもよし。抽出時間の違いで変化する味わいの中から好みの一杯を探しつつ、明るい日差しの入る店内でゆったりとした時間を味わっていただければと思います。

感染症対策を万全にして皆様のご来店をお待ち申し上げます。

ピア宮敷 冬のギフトのご案内

これまでもご好評いただいているギフトセットのご案内です。厳選した安心なゴマを圧力だけで絞り出し透き通るまで何度も濾過を繰り返したゴマ油等、自慢の品々をご用意いたしました。年末年始のご挨拶にいかがでしょうか。セット内容の詳細につきましてはピア宮敷ホームページをご覧ください。



【お問合せ先】ピア宮敷第1工房

TEL.0470-87-5200 FAX.0470-87-7801



●江澤 良平
出身 いすみ市
配属 福祉作業所
仕事においての目標
先輩職員の様に全体を見られるようになって、一人一人の障害特性に合わせた支援が出来るようになりたいです。



●末吉 明子
出身 大多喜町
配属 ステップ班
仕事においての目標
早く仕事を覚えて利用者さんが楽しく過ごせて笑顔を増やせるような支援員を目指します。



●小池 ふじ美
出身 いすみ市
配属 福祉作業所
仕事においての目標
利用者さんと過ごす時間を大切にしながら仕事を早く覚えて率先して自分から動けるようにしたいです。

ニユーフェイス

後援会入会のご案内

後援会では、「社会福祉法人土穂会 ピア宮敷」の運営を支援するため、積極的に活動しております。

入会のお問い合わせは、後援会事務局までどうぞ。

0470-87-9631

(ピア宮敷内)

ホームページのご案内

ピア宮敷の公式ホームページでは、各種イベントや支援の様子など、最新情報を随時更新していきます。こちらも是非ご覧ください。

編集後記

刻一刻と深まりゆく秋。もう間もなく12月。「師走の候」という挨拶文を使う時期が近づいてまいりました。12月の異名が「師走」なのは教師的な役割をしていたお坊さん（師）が仏事などで走り回る「師が走り回る」から転じたものだとか（諸説あり）。コロナ禍で迎える初めての年末年始。例年通り「師走（しわす）」の忙しさなのか、ゆっくりとした「師休（しやす）」になるのか。ゆっくりとしたものなのです。

おっと！忘れていました。新年号の「かえで」は1月発行でした。我々はゆっくりと呼吸を整えて、正月を迎える事が出来るのか、今号を発行する事が出来てほっと一息もついていられます。

年末年始も私はがんばります！「私走」しますので施設長も引っぱり出して「施走」で構成を練らなくては。くる年もよろしく願います。（美）